

【七・八月】お題「夏のもの」・「水」・「体育祭」

## 月間賞

群青の空で響くはせみの歌風の伴奏指揮者は私

二―二 安倍くるみ

## 第二席

薫風でチリンチリンと愛らしい瞳とじれば意識とおのく  
空見上げ凜としているひまわりは私にとって身近な太陽

三―一 安田唯  
二―一 荒木舞優

## 第三席

コップから水を通してみる君は何かの中でゆれていて  
梅雨空が一時晴れて射す光今年の夏も暑いかな  
夏の夜暗闇の中光る花儂く散り浴衣を照らす  
子ども達水でチャプチャプ遊ぶときその合図で夏を知る  
手をつなぎはちまきびしっと気持ち締め大声出して次の日枯れる  
ふうりんが細く儂い音楽で共鳴しているグラスの中で  
炎天下まぶしい水が宙を舞い熱い地面に吸い込まれてく  
夏の昼暑さかなわず水をまきかすかに見えた虹の一片  
真夏の日蛇口ひねれば流れ出る両手の器喉を潤す  
八月の夜空見上げて待っている色とりどりに咲く花たちを

三―二 佐々木珠莉奈  
三―一 佐々木羅唯南  
三―二 早坂凜  
二―二 鈴木隆徳  
二―一 氏家夢叶  
二―一 佐々木陽菜  
一―一 平田纏  
一―一 工藤瑚々  
一―二 赤羽根樹  
一―三 鎌田萌々夏

## 優良賞

走り出す夏の競技がありすぎて風鈴と声かさなり消えた  
思い出は水のように流れていく私の中の透明な時間  
生徒より本気で走る教師たち体育館の中で燃える闘志  
夜風吹く夏の火花は切なくて終わるなと願う八月の宵  
咲く火花瞳を埋める空の花君の笑顔が右目にうつる  
白日に照らされ輝く水面にはまぶしい笑顔青葉とともに  
真剣に見つめる目と瞳ネットごし決め手の一本今ここにあり  
キラキラと青に光反射してじゃあばあんもぐると別世界暗闇を冒険だ

三―一 廣瀬亜美  
三―三 櫻田侑子  
二―三 三浦明音  
二―三 三浦明音  
一―一 泉新汰  
一―三 谷代乃々  
一―二 大和田陽  
一―一 河東田綺星

## 佳作

体育館静かに響く応援が選手みんなの元気の源  
ねてるのに耳元で鳴く吸血鬼もういいかげん出て行って  
ゆかた着て金魚すくいにりんごあめいや待てコロナ祭りは中止  
体育祭終わった後の体育館なぜか悲しくなぜか寂しい  
真夜中にあかり一つない森の中空いっぱいの流れ星  
夏祭り夜空に輝き花が咲くヒュードンと音をたてて  
夏の夜に大きな花が咲き誇る目を輝かせ空を見上げる  
たちのぼる入道雲が雨降らしもう夏ですと知らせが届く

三―三 氏家慧大  
三―二 早坂凜  
二―三 千葉果澄  
二―一 菅生信夫  
一―二 早坂彩葉  
一―一 北村夢生  
一―三 早川奈桜  
一―三 菊地萌依

夏の風景や体育祭での印象的な一コマなど、情景や心情を豊かに表現している短歌がたくさんありました。懐かしく、アルバムの写真をめくるような感覚になります。月間賞の安倍さんの歌は、何と言っても、下の句がユニークで愉快です。真夏の光景を描出しながら、しかも清涼感も含ませて、今夏を彩るすばらしい作品となりました。(石)